

User's Guide

for Qio™ MR Professional Universal Media Reader & Writer for PCs

Qio™ MR、プロフェッショナル・ユニバーサルメディア
リーダー&ライター PC対応 ユーザーズガイド



SxS



P2



Creativity Stored Here™

SONNET
SIMPLY FAST™
www.sonnettech.com

目次

1 概要および製品パッケージの内容	1
概要	
製品と付属品	
2 Qio MR筐体の説明	2
3 ハードウェアインストールおよび接続手順	3
A – Qio MR筐体、内蔵Express Bus Extender PCIeカードのインストール	
B – BIOSの設定を変更する	
C – ソフトウェアのダウンロード	
D – SxSドライバのインストール	
E – P2ドライバのインストール	
F – SATAドライバのインストール	
4 メモリーカードとアダプタカードの使用方法	6
カードの挿入と取り出し	
対応カード一覧	
SxSメディア、ExpressCard/34アダプタの挿入と取り出し	
P2メディアの挿入と取り出し	
CF (CompactFlash) カードの挿入と取り出し	
SxS、P2メモリーカード書き込み禁止スイッチ	
5 Qio MRに接続されたドライブのフォーマット	7
ドライブフォーマットの概要	
6 役立つ情報と既知の問題	9
役立つ情報	
既知の問題	
7 技術情報、諸注意、製品保証、サポート情報	10
技術情報	
安全上の注意	
FCC 準拠	
カスタマーサービスへのお問い合わせ	

第1章：概要と製品パッケージ内容

はじめに

Qio MRは、ユニバーサルメディアリーダ&ライタ、eSATAホストコントローラ、また、ExpressCard®/34アダプタカード対応の拡張用筐体です。Qio MRには、Sonnet 内蔵用Express Bus Extender PCIe アダプタカード（デスクトップコンピュータ対応）、カードと筐体とを接続するPCIeインターフェースケーブルを付属しています。

Qio MRでは、SxS™、P2、CompactFlash®メモリーカードスロットを各2基搭載、カードーカード、カードーコンピュータ、カードー接続ドライブとの間でのデータ転送が可能、さらにカード2枚以上を同時に装着してデータ転送を同時に行うこともできます。また、Memory Stick™ MMC、SD、xD-Picture Card™メモリーカードの読み/書きが可能なSonnetマルチメディアメモリーカードリーダ&ライタExpressCard/34アダプタが付属しており、一方のSxSスロットに挿入して使用できます。

Qio MRのeSATAコントローラはSonnet Tempo™ SATA E4Pホストコントローラをベースに設計されており、同じ性能とドライバを使用しています。eSATAインターフェース搭載ドライブ筐体、ベアSATAドライブ（アダプタカード使用時）と互換性があります。ポータブルマルチプライヤ、ハードウェアRAIDコントローラに対応、ドライブ最大16台（ドライブ筐体4台接続時）サポートします。

Qio MRのSxSスロットはExpressCard/34アダプタカードに対応。互換性のあるアダプタの種類にはeSATA、FireWire®、Gigabit Ethernet、SmartCardリーダ、TVチューナー、USB、WiFi®、WWANモデム他が含まれます。アダプタカードとメモリーカードは同時に使用できませんが、使用するコンピュータのPCI Express®バスの帯域幅が不十分だとパフォーマンスが制限されることがあります。

効率的に手順を進めるため、ぜひ本ユーザガイドをお読みいただきながらQio MRの使用を開始してください。

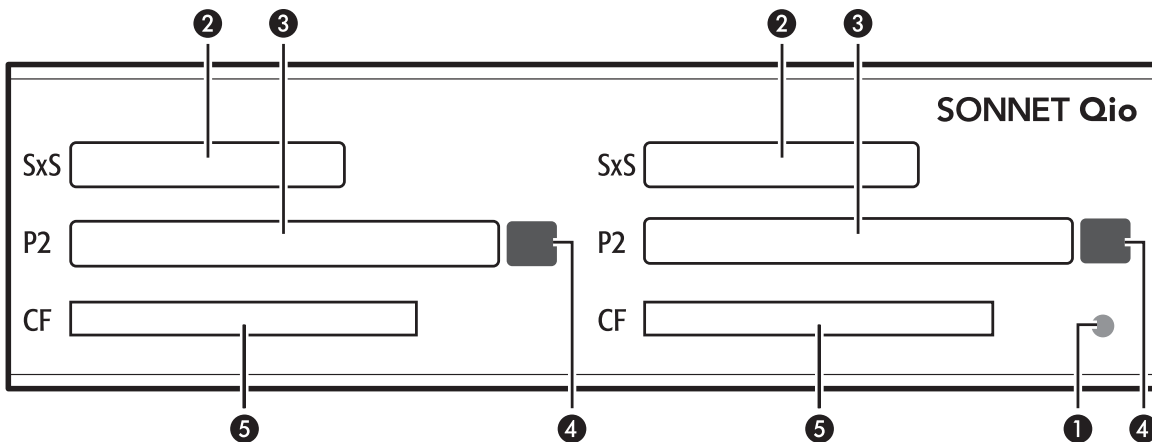
製品と付属品

- 1 - Qio MR プロフェッショナルユニバーサルメディアリーダ/ライタ (筐体)
- 2 - Sonnet 内蔵用PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタ
- 3 - Sonnetマルチメディアメモリーカードリーダ&ライタ ExpressCard/34

- 4 - 1メートル長 PCIe x1インターフェースケーブル
- 5 - 電源ケーブル
- 6 - SATAドライブ電源アダプタ
- 7 - 取付け用ねじ1式



第2章 : Qio MR筐体の説明



1 - 通電表示LED

Qio MRの電源と接続されている場合点灯します。Sonnetアダプタカードはスロットに適切にインストールされ、接続したPCIeケーブルが双方ときちんと接続されている場合は、コンピュータ側は電源供給がされています。

2 - SxS メディアスロット

これらのスロットでは、SxSメモリーカード、ExpressCard/34アダプタカードのいずれも使用可能です。これらのスロットへ付属品のSonnetマルチメディアメモリーカードアダプタを挿入すると、Memory Stick、SDXC、SD、MMC、xD-Pictureメモリーカードの使用が可能になります。

3 - P2メディアスロット

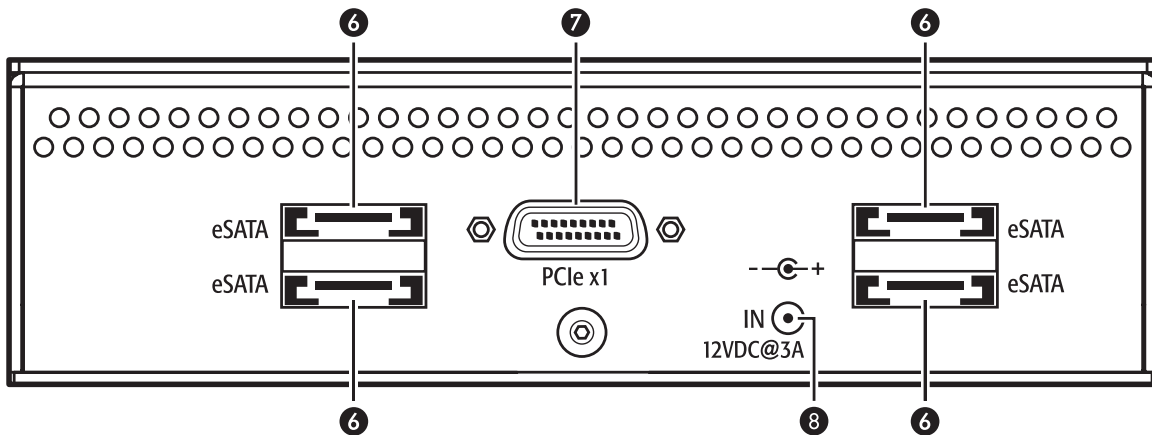
これらのスロットでは、P2メモリーカードの使用が可能です。

4 - P2メディアスロットの取り出し (イジェクト) ボタン

これらのボタンを押すとP2スロットからカードが取り出されます。

5 - CF (CompactFlash) カードスロット

これらのスロットではType I CFメモリーカードを使用可能です。Qio MRはType II (Microdrive等、厚さが5mm規格) CFカードには対応していません。



6 - eSATAポート

このポートはeSATAデータケーブルを接続します。各ポートは、個々のドライブまたはeSATAインターフェース 筐体に搭載の最大4台までのSATAハードディスクドライブ (またはSSD)、ポートマルチプライヤ、内蔵ハードウェアRAIDコントローラに対応します。

7 - PCIe x1コネクタ

Qio MR筐体とコンピュータのPCIeバス拡張カードの接続時、このコネクタを付属のインターフェースケーブルの一端と接続します。

8- 12VDC入力ソケット

付属のAC電源アダプタケーブルまたは別途用意したXLR電源アダプタケーブルのいずれかを接続し、Qio MR筐体に電源を供給します。

第3章：ハードウェア/ソフトウェアインストール手順



警告：コンピュータ製品を取り扱う際には、部品が静電気により破損しないよう細心の注意を払ってください。カーペットなど静電気の発生しやすい場所での作業は避けてください。カードを扱う際には必ず角の部分を持つようにし、コネクタ部分やピンには直接触れないようご注意ください。また、ロジックボードやロジックボードの部品に触れないようご注意ください。

A – Qio MR筐体、内蔵Express Bus Extender PCIeカードのインストール

1. コンピュータの電源を落とし、次にコンピュータの背面にある拡張カードアクセスカバーに触れ、体に帯電した静電気を除去します。
2. 電源コード、その他コンピュータから電源を摂っているデバイス（モニター、プリンタ等）があればそれらのケーブルも外します。
3. 拡張カードスロットの場所で作業ができるようにコンピュータのケースを開きます。詳細はお持ちのコンピュータのユーザマニュアルを参照してください。



参考情報：静電気が再び帯電するのを避けるため、Qio MRのインストール完了、コンピュータを閉じる作業が完了するまでは作業中にむやみに歩き回らないようにしましょう。

4. 空きの5.25"ドライブベイのベゼル（カバー）を取り外します。
5. Qio MR筐体を5インチドライブベイの正面スロット側から搭載します。
6. コンピュータに接続されたオプティカルドライブの電源コネクタを確認します。この近くに少なくとも1本の電源コネクタがあるはずです。
7. 付属の電源ケーブル（SATAドライブ電源アダプタを必要に応じて接続）をQio MR筐体の12VDCソケットとコンピュータの電源コネクタ間に接続します。
8. 付属のPCIeケーブルの一端をQio MR筐体のPCIeコネクタと接続します。コネクタがしっかりと装着されねじが固く締まっていることを確認します。また任意で、eSATAポートとドライブ間へSATAデータケーブルを接続します。
9. Qio MR筐体のねじ穴とドライブベイフレームの穴とを合わせ、付属のねじでドライブベイにQio MR筐体を固定します。
10. 空きPCI Expressスロットの位置を確認し、アクセスカバーを取り外します。
11. Sonnetカードをパッケージから取り出し、スロットへインストールします。カードがしっかりと装着されたことを確認します。
12. インストールしたPCIeケーブルをソネットカードと接続します。筐体を閉じた際ケーブルが潰れたり挟まれたりしないよう、ケーブルはプロセッサのヒートシンク周りを避けて養生してください。
13. PCIeケーブルをソネットカードと接続します。コネクタがしっかりと固定されねじが固く締まっているか確認してください。

14. コンピュータの筐体を閉じます。
15. 電源コードおよび周辺機器のケーブルをコンピュータへ再度接続します。



参考情報：PCI I/Oリソース領域が限られているため、コンピュータ内BIOSのオプションROMを少なくとも1つ以上無効化するための方法が記載されており、場合によってはSonnetカードを別のスロットに移動する必要があります。Qio MRの性能をサポートには少なくとも1つのオプションROM項目を無効化しなければならないことがあります。BIOSにてオプションROMを再度有効化することは可能です。

B – BIOS設定の変更

1. コンピュータの電源を入れ、直ちにコンピュータのBIOS（セットアップ）メニュー画面へ入ります。BIOS手順の進め方等の詳細はお使いのコンピュータのユーザガイドを参照してください。
2. SERR#（システムエラー）オプションがあれば箇所確認の上、無効化します。
3. 変更を保存してExitし、コンピュータを再起動します。コンピュータが通常起動する場合はそのまま手順「C - ソフトウェアのダウンロード」へ進んでください。通常起動しない場合は、次の手順へ進んでください。Windowsの場合、Qio MRとPCIeカードをインストール後の最初の起動時に通常より起動時間がかかりますが、これはデバスマネージャにおいて全てのQio MRデバイスを検出しデバイスドライバをインストールするためです。今回以降は通常通りに機能します。
4. コンピュータの電源を落とし、電源コードおよびコンピュータから電源供給を受けるデバイス（モニター、プリンタ等）があればそのケーブルもコンピュータから外します。筐体のケースを開き、拡張カードを使用する箇所を確認します。
5. ソネットカードを現在のスロットから外し、別のPCIeスロットへ移植します。必要に応じて、ソネットカードとインストールされている（グラフィックスカード以外の）別のカードとの位置を入れ替えます。カードがしっかりと装着され固定されたか確認します。
6. コンピュータ筐体を閉じ、電源コードと周辺機器のケーブルを接続し直します。
7. コンピュータの電源を入れます。通常起動された場合は次の「C - ソフトウェアのダウンロード」へ進んでください。通常起動しない場合は、別に可能性のある空きスロットがあれば、この手順4～6を繰り返して行ってください。全ての空きスロットを試してそれでもコンピュータが、インストールされたソネットカードのためにフリーズするという場合は、前に試した空きスロットに再度装着を試みてください。

（次頁へ続く）

第3章：ハードウェア/ソフトウェアインストール手順

B – BIOS設定の変更 (続き)

8. コンピュータを起動し、BIOS (セットアップ) メニューを起動します。
9. 有効化された不使用のオプションROMを無効化します。
10. 変更を保存してExitします。するとコンピュータが再起動します。コンピュータが通常起動する場合は「C - ソフトウェアダウンロード」へ進みます。通常起動しない場合は、コンピュータの電源を落とし、手順8～9を繰り返します。別の有効化された不使用のオプションROMを無効化します。



参考情報：コンピュータにインストールしたQio MRが原因でコンピュータが機能しない場合、Sonnetカードを取り外してSonnetサポートまたは製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。情報の詳細につきましてはWindows対応Qio FAQウェブページwww.sonnettech.com/support/kb/kb.phpを参照してください。

C – ソフトウェアのダウンロード

1. インターネットにログオンします。
2. 「<http://www.sonnettech.com/support/kb/kb.php>」へアクセスし「Pro Media Readers」続いて「Qio for Windows」をクリック。
3. 「Driver」リンクを確認して「Qio System Installer (Windows)」リンクをクリック、「Download Now」ボタンをクリックします。設定内容によってはファイルの扱い方について許可のウィンドウが表示されますので、「開く」をクリックします。別のウィンドウが表示されたらファイルを開く許可を求めた場合は「許可」をクリックします。
4. .zipファイルの中身を表示するウィンドウが表示されるので、場所を確認の上「Extract Files (ファイルを解凍)」をクリックします。
5. 「Extract Compressed (Zipped) Folders (圧縮zipフォルダを解凍)」とのウィンドウが表示されたら「Browse (参照)」をクリックします。
6. 「Select a destination (保存先の選択)」ウィンドウが表示されるので保存先を指定し「Make New Folder (新規フォルダを作成)」をクリックします。フォルダ名を「Qio Installers」とし、「解凍」をクリックします。

D – SxS ドライバのインストール

1. 「Qio Installers」フォルダを開き「SxS_Driver_Installer_xxx」ファイルをダブルクリックします。「Open File - Security Warning」ウィンドウが表示されるので「Run」をクリックします。
2. 表示される「SxS device driver InstallShield Wizard」ウィンドウで「Next」をクリックします。
3. 次のウィンドウが表示されるので「Install」をクリックし、ドライバをインストールします。
4. 「Install Wizard Complete」ウィンドウが表示されるので、「Finish」をクリックします。

E – P2 ドライバのインストール



参考情報：Panasonic P2メディアに対応するには、ドライバのインストールの際P2メモリーカードをQio MRのP2スロットに挿入する必要があります。P2メモリーカードを挿入しないとドライバがインストールされず機能しません。P2カードをお持ちでない場合、このインストールを後日行う等してください。

1. 「Qio Installers」フォルダを開き、64ビット版Windowsの場合は「P2Winx64」フォルダ、それ以外の場合は「P2Winx32」フォルダを開きます。
 2. 「Setup.exe」をダブルクリックしインストーラを起動します。
 3. 表示される「Open File - Security Warning」ウィンドウで、「Run」をクリックします。
 4. 表示される「Panasonic P2 Drivers InstallShield Wizard」ウィンドウで、「Next」をクリックします。
 5. 表示される「License Agreement」ウィンドウで、同意文を読み、「I accept the terms in the license agreement」をクリックし、「Next」をクリックします。
 6. 表示される「Destination Folder (フォルダの保存先)」ウィンドウで、デフォルトの場所または保存先を指定し「Next」をクリックします。
 7. 表示される「Ready to Install the Program」ウィンドウで「Install」をクリックします。
 8. 表示される「Panasonic P2 Installation Window」ウィンドウで「P2 card CardBus driver (2 slot(s))」チェックボックスにチェックを入れ、「OK」をクリックします。
 9. P2カードを挿入するようメッセージが表示されますので、P2カードをQio MRのP2スロットに挿入し「Install」をクリックします。ドライバがインストールされます。(Windows Securityウィンドウが表示された場合も「Install」をクリックします。)
 10. 表示される「Install Wizard Completed」ウィンドウで「Finish」をクリックします。
 11. 表示される「Panasonic P2 Drivers Installer Information」ウィンドウで「Yes」をクリックしコンピュータを再起動します。
- ### F – SATAドライバのインストール
1. 「Qio Installers」フォルダを開き、「Tempo SATA Installer」フォルダを開きます。
 2. 64ビット版Windowsの場合、「Tempo SATA Installer 64」を、それ以外の場合は「Tempo SATA Installer」をダブルクリックします。
 3. 表示される「Open File - Security Warning」ウィンドウで「Run」をクリックします。

第3章：ハードウェア/ソフトウェアインストール手順

F – SATAドライバのインストール (続き)

- 表示される「Tempo SATA Installer」ウィンドウで「Next」をクリックします。
- 表示される「End User License Agreement」ウィンドウで同意文を読み、「I accept this EULA」をクリックし「Next」をクリックします。
- 表示される次のウィンドウで「Finish」をクリックします。ドライバのインストールが失敗した旨のウィンドウが表示された場合は「OK」をクリックします。備考：これは想定内の動作で、この後の手順で適宜修正を行います。
- コンピュータを再起動します。
- 「Start」>「Control Panel」とクリックします。コントロールパネルウィンドウで、デバイスマネージャをクリックします。「User Account Control (UAC)」を無効化していない場合は「UAC」ウィンドウが表示されるので、「Continue (続行)」をクリックします。
- 表示される「デバイスマネージャ」ウィンドウで「Storage Controllers」隣にある矢印をクリックし、リストを展開します。「Sonnet Tempo SATA QIO PCI Express Adapter」がリスト内に表示されたら、インストールは完了、Qio MRの使用準備は完了です。表示されなかった場合は次の手順に進んでください。
- 「IDE ATA/ATAPI Controller」の所の矢印をクリックしリストを展開します。「Standard Dual Channel PCI IDE Controller」1件のみ表示された場合はその項目をダブルクリックし、手順14へ進んでください。それ以外の場合は次の手順に進んでください。
- 最初の「Standard Dual Channel PCI IDE Controller」リストを選択し、右クリックしプロパティを選択します。
- 「Standard Dual Channel PCI IDE Controller Properties」ウィンドウが表示されたところで「Details」タブをクリックし、「Property」ドロップダウンメニューから「Hardware id」を選択します。
- リストされているIDが「PCI/Ven_11ab&Dev_7042…」であることを確認します。IDが適合した場合次の手順に進んでください。それ以外の場合は、「Standard Dual Channel PCI IDE Controller」が代わりのハードウェアIDに適合するものが見つかるまで 手順11～13を繰り返してください。
- 「Driver」タブをクリックし「Update Driver (ドライバの更新)」をクリックします。
- 「Update Driver Software (ドライバの更新)」ウィンドウが表示された所で「Browse my computer for driver software (コンピュータからドライバを検索)」をクリックします。
- 表示される「Browse your computer for driver software)」ウィンドウで、「Let me pick from a list of device drivers on my computer (コンピュータのデバイスドライバの一覧から指定)」をクリックします。
- 表示される「Select device driver you want to install for this hardware (ハードウェア用にインストールするデバイスドライバを指定)」ウィンドウで、「Standard Dual Channel PCI IDE Controller」を選択し、「Have Disk (ハードディスク使用)」をクリックします。
- 表示される「Install from Disk (ディスクからインストール)」ウィンドウで「Browse (参照)」をクリックします。
- 表示される「Locate File (ファイルの指定)」ウィンドウで、Tempo SATA Installerフォルダを指定します。64ビット版Windowsの場合は「amd64」フォルダを、それ以外の場合は「i386」フォルダをダブルクリックします。「mvsata」を選択し、「Open」をクリックします。
- 「Install from Disk」ウィンドウに戻り「OK」をクリックします。
- 「Select device driver you want to install for this hardware」ウィンドウに戻ってください。モデル名が「Sonnet Tempo SATA QIO PCI Express Adapter」に変更されます。「Next」をクリックします。「Windows Security」ウィンドウが表示されるので、「Install」をクリックします。ドライバがインストールされます。



参考情報: ドライバが更新されると、Qio MRのSATAコントローラはデバイスマネージャ上で「Storage Controller」と認識されます。

- 「Windows has successfully updated your driver software (ドライバの更新が正常に完了)」ウィンドウが表示されたら「Close」をクリックします。
- コンピュータを再起動すれば、Qio MRの使用準備完了です。

第4章：メモリーカードとアダプタカードの使用

カードの装着と取り外しについて

全ての種類のカードに共通する注意事項

- カードはスロットに対し平行に挿入してください。
- カードやQio MR筐体が破損する恐れがありますので、カードをスロットコネクタへ無理に挿入しないでください。
- 読み書きのデータ転送中にメモリーカードをQio MR から取り出さないでください。

SxSメディア、ExpressCard/34アダプタの挿入と取り出し

- カードを挿入する際は、カチッと音がする所までスロット内へ押し入れてください。
- SxSメモリーカードを実際に取り外す前に、タスクバーをクリックし「ハードウェアの安全な取り外し」>「安全にSony SxSを取り外す...」の手順を踏み、カードがイジェクトされたことを確認してください。この手順で行われない場合、メモリーカード上のデータが破損する可能性があります。
- ExpressCard/34アダプタを取り外す前に、タスクバーをクリックし「ハードウェアの安全な取り外し」>「安全にハードウェアを取り外す...」の手順を行ってください。
- カードを取り外す際は、再びカチッと音がする所までカードを押し入れると、カードが排出されます。
- カードを押さずに取り出さないようにしてください。次回スロットに挿入するカードが直ちに飛び出し問題が起こる場合があります。
- ケーブルとExpressCardアダプタを接続して使用する際、必ず先にケーブルをアダプタカードと接続し、その後アダプタカードをQio MR 筐体のスロットへ装着してください。

P2メディアの挿入と取り出し

- カード挿入時には、スロット内でカードが止まる所まで押し入れてください。すると、スロットの隣にあるイジェクト（取り出し）ボタンが突き出た状態となります。
- P2メモリーカードを実際に取り外す前に、タスクバーをクリックし「ハードウェアの安全な取り外し」>「安全にPanasonic P2カードを取り外す...」の手順を踏み、カードがイジェクトされたことを確認してください。この手順で行われない場合、メモリーカード上のデータが破損する可能性があります。
- P2カードを取り出す場合はカードスロットの隣のイジェクトボタンを押してください。

Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタの使用

- PCIe x1外付けインターフェースケーブルをPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタに接続した後、そのアダプタカードをコンピュータのExpressCardスロットへ接続してください。
- コンピュータの電源がオフの場合を除き、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータから取り外さないでください。

CF (CompactFlash)カードの挿入と取り出し

- カードを挿入時、カードが止まる所までスロット内へ押し入れます。
- Qio MRにCFカードを挿入した際コンピュータがCFカードを認識するため、デバイスマネージャ（「スタート」から、右クリックで「コンピュータ」、「管理(Manage)」とクリックし、左側のペインで「デバイスマネージャ」をクリック）を開き、そこから「Action」>「Rescan Disks」とメニューをクリックします。

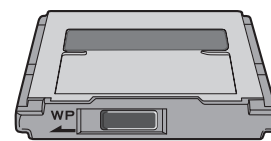


警告：CFカードのイジェクト（タスクバーから安全に取り出すメニューを選択する方法）はQio MRが無効化される恐れがあるため行わないでください。CFカードにはノンリムーバブルディスクとして認識される種類のものがあり、これらの種類のカードを取り出す際にタスクバーからのイジェクトを行うとQio MR全体（中に入ったメモリーカードや接続されたドライブなど）がイジェクトされてしまいます。もしCFカードをタスクバーからイジェクトした場合は、Qio MR機能をリストアするためコンピュータの再起動をかける必要があります。

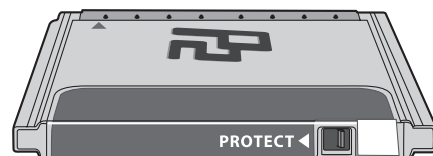
- CFカードを取り出すには、スロットと並行に真っ直ぐ引き出してください。
- CFカードを取り出した後は、ディスクのシステム管理情報を更新する必要があるため、デバイスマネージャを開いて「Action」>「Rescan Disks」と選択してください。

SxS、P2メモリーカード書き込み禁止スイッチ

SxS とP2メモリーカードには書き込み禁止スイッチが装備されています。「WP」または「PROTECT」位置に設定されている時、データの保存、編集および削除機能は使用できません。Qio MRの中へ挿入されている状態では、SxS、P2カードのスイッチ位置の変更を行わないでください。スイッチの位置を変更する必要が生じた場合は、前述の通り、カード取り出しの手順に従ってスロットからカードを取り出し、カードのスイッチの位置を変更し、その後再びスロット内へカードを挿入し直してください。



書き込み禁止スイッチの切り替えはQio MRスロットへカードが挿入されていない時に行ってください

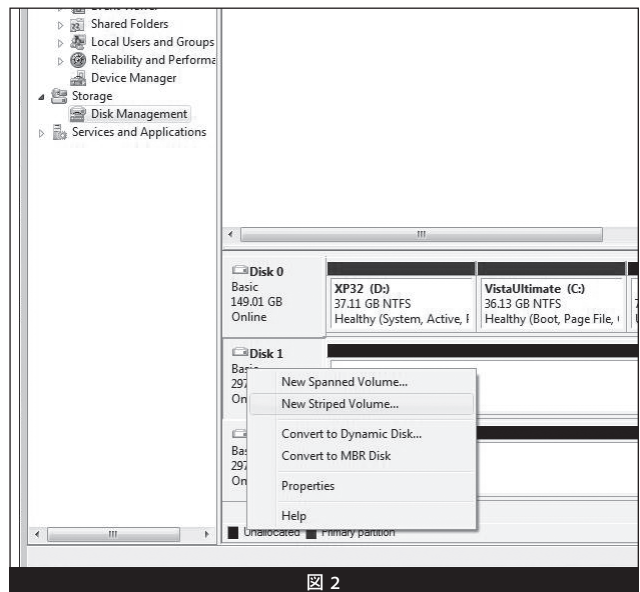
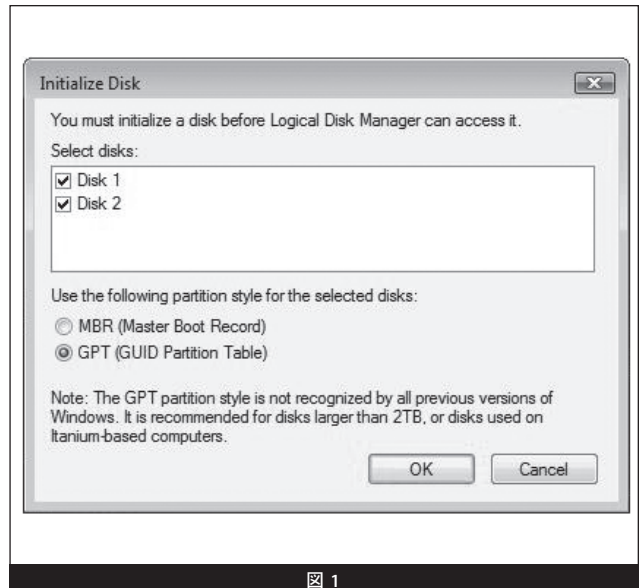


第5章：Qio MRに接続されたドライブのフォーマット

ドライブフォーマットの概要

Qio MRに接続されたドライブのフォーマットを Windowsのドライブフォーマットツールで行う際、Windowsヘルプメニューで「ボリュームのフォーマット (format volume)」と項目を検索するとより詳細な情報が掲載されている場合があります。下記の手順はWindows Vistaでのドライブのフォーマットおよび構築方法を示しています。Windows 7での手順も下記の手順と同様です。

1. ストレージシステムの電源を入れログオン後、「スタート > コントロールパネル」をクリックします。
2. 「コントロールパネル」ウィンドウで「管理ツール (Administrative Tools)」をクリックします。「User Account Control (UAC)」を無効化していない場合はUAC ウィンドウが表示されるので「Continue (続行)」をクリックします。
3. 「管理ツール (Administrative Tools)」ウィンドウで、「コンピュータ管理 (Computer Management)」をダブルクリックします。
4. 「コンピュータ管理」ウィンドウで 「Storage」メニュー内から「ディスク管理 (Disk Management)」アプリケーションを起動させます。
5. 「ディスクの初期化 (Initialize Disk)」ウィンドウ、または ディスクが初期化されない旨のウィンドウ表示がされたらQio MRに接続したドライブのパーティションの種類を指定し「OK」をクリックします。ドライブが初期化されます (図 1)。Qio MRに接続されているその他のドライブについても必要に応じて初期化を行ってください。
6. 接続したドライブの名前フィールドを右クリックし、使用したいフォーマットの種類を指定します。Qio MRに接続されているその他のドライブについても必要に応じて初期化を行ってください。(図 2)。
7. 指定したフォーマットの種類によっては、新規パーティション作成ウィザードが起動し、オンスクリーン形式でドライブのフォーマットを完了することができます。ひとたびフォーマットが完了すると、ドライブを使い始められ



第6章：役立つ情報と既知の問題

役立つ情報

ホットプラグ対応SxS、P2、SDカード製品

Qio MR筐体ではメモリーカードをホットプラグ、ホットスワップにて装着、取り外しが行えますが、適切な手順でボリュームをイジェクト（解除）しない場合は、カード上のデータの損失やコンピュータの予期せぬ動作を引き起こす原因となります。コンピュータがスリープ中にQio MR筐体へカード製品を挿入／装着しないでください。

Qio MR筐体のホットプラグ機能

Qio MR筐体のホットプラグ機能は未対応です。電源とQio MR筐体は接続されていて、かつQio MRはアダプタカードが本書4、5頁にわたり記載された手順に則っている必要があります。コンピュータの起動時点において、Qio MRにメモリーカードおよびアダプタカードは挿入済みである場合があります。

メモリーカードのフォーマット

最大限の互換性能を得るには、ご使用のカメラ製品内で、メモリーカードのフォーマットを行います。稀にQio MRにてフォーマットされたカードが認識されず、カメラに読み込まれる際に再フォーマットが必要となる場合があります。

デバイスドライバ

アダプタカードの使用時、フル性能で機能させるために、追加ドライバが必要となる場合があります。ソフトウェアはデバイスに付属、もしくは、製造元メーカーのウェブサイトにてダウンロードで利用可能です。必要なソフトウェア情報については該当の周辺機器のユーザーマニュアルを確認してください。

アダプタカードへ接続されたデバイスへの電源

Qio MR筐体に接続されたアダプタカードから直接電源供給を受ける周辺機器が殆どですが、中にはQio MRが供給する以上の電源が必要なデバイス機器においては、外部電源が必要となる場合があります。必要に応じて外付けで電源供給を行ってください。

既知の問題

Sonnet Internal Express Bus Extender PCIe Card使用するスロットによっては、CompactFlash (CF)カードが無効化と表示される

PCではPCI I/Oのリソース領域が非常に限られているためにカードをインストールするスロットによってはCFドライバが起動するのに十分なI/Oリソースが割り当てられていないことがあります。この現象は内蔵Express Bus Extender PCIeカードを別のスロットに差し替えることで問題が解決される場合がしばしばみられます。

ホットプラグ式ではCFカードが自動的に認識されない

CFカードはIDEハードディスクドライバを使用しており、ホットプラグ機能を想定していないため、カードを挿入した後に、デバイスマネージャを開いて、新規デバイスのスキャン (Scan for New Devices) を行って検出をかける必要があります。CFカードがホットプラグ式に使用できるようSonnetでは現在アップデートの開発を進めています。

Qio MRをインストール後、Ethernet接続ができない

いくつかのケースで、Qio MRがインストールされると、Windowsが新しいポート番号を割り当てるために「アダプタの設定(Adapter Settings)」内のEthernet特定の設定がリセットされてしまう、という現象があり、Sonnetは現在この問題について調査中です。

第7章：技術情報、安全上の注意、FCC準拠、製品保証とサポート情報

技術情報

外付けコネクタ (Qio MR筐体)	CompactFlash 2基 アダプタカード(P2) 2基 ExpressCard/34 (SxS) 2基 eSATA 4基 外付けPCIe x1 - 18 電源3基: 12VDC@3A入力 (最大 20VDC) 1基
外付けコネクタ (アダプタカード)	外付けPCIe x1 - 18
データ転送スピード	集合値で最大200 MB/秒
バスインターフェース	PCI Express x1
CompactFlashスロット 対応メディア	Type I CompactFlash
CardBusスロット 対応メディア	P2, P2 E-series
ExpressCard/34スロット 対応メディア	SxS; SxS Pro; 付属アダプタとの併 用でSD、SDHC、SDXC、 Memory Stick、MMC、xD- Picture Card
対応ドライブ数	最大16台*
対応ドライブの種類	シリアルATA I、II、(IIスピードに て) III
ファームウェア	Flash-ROMにより最新のファーム ウェアのバージョンへアップグレー ド可能
起動ディスクのブート	未対応
寸法(Qio MR筐体)	WxDxH: 14.5 x 15.2 x 4 cm
重量(Qio MR筐体)	0.5 kg
RoHS準拠	準拠しています

* 最大16台のサポートにはハードウェアRAIDコントローラ搭載のドライブ筐体 (ソネットのFusion D400QR5、R400QR5等)の使用が必要です。

安全上の注意事項

作業を開始する前に必ずこの項をよくお読みください。この注意事項では、身体の安全を守り、本デバイスの損傷の可能性を最低限に抑えられるよう、製品の正しく安全な使用方法を説明しています。

警告

取り扱いを誤ると、感電やショート、火災、その他発生する可能性のある危険により死亡または重傷を負うおそれがありますので、常に以下の基本的な注意事項を守ってお使いください。以下の注意事項が挙げられますが、これに限定されるものではありません。

- ユーザが扱える部品の交換以外は、決して筐体の分解や改造を試みないでください。正常に動作していないように思われる場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。
- 筐体やアダプタを落下させたり乱暴に扱うと故障の原因になりますので、取り扱いの際には充分ご注意ください。
- 筐体内部に指や異物を差し込まないでください。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭ではご注意ください。
- 本デバイスを雨にさらしたり、水の近くや隙間にこぼれる恐れのある液体が入っている容器の近くで使用したり、湿気が高いまたは濡れた状態で使用しないでください。
- 異臭や異音、煙などが本デバイスから生じた場合や誤ってデバイスを濡らしてしまった場合は、直ちに電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- 必ずこのマニュアルに記載の手順に従ってください。ユーザガイドに記載されていない情報が必要な場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。

FCC 準拠

Express Bus Extender PCIe、PCIe Bus Extender ExpressCard/34、Qio MRは、FCC規制パート15に準拠しています。この機器は次の要件2点を満たした上で稼働します。この機器は有害な電波干渉を引き起こさないこと、且つ、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れること。

製品保証とカスタマーサービスへのお問い合わせ

ソネットテクノロジーズ社は本製品の最初の購入日より2年間、製品上、材質上の欠陥が無いことを保証とします。製品保証に関する全ての情報は、www.sonnettech.com/support/warranty.html をご覧ください。

本製品に関するテクニカルサポートについては、お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。お問い合わせいただく前に、Sonnetのウェブサイト (www.sonnettech.com/jp) から最新のアップデート、オンラインでサポートファイルがあるか確認し、このユーザガイドをもう一度よくお読みください。



Sonnet Technologies, Inc., California USA • Tel: 1-949-587-3500 Fax: 1-949-457-6349 • www.sonnettech.com/jp
©2011 Sonnet Technologies, Inc. All rights reserved. SonnetおよびSonnetのロゴ、Creativity Stored Here、Simply FastおよびSimply Fastのロゴ、Fusion、Tempo、QioはSonnet Technologies, Inc.の登録商標です。FireWire、Mac、Macのロゴ、Mac OS、MacBookは、米国内または他国におけるApple Inc.の登録商標です。Memory Stick、SxSはソニー株式会社の登録商標です。その他の商標については当該各社が所有権を有します。製品に関する情報は予告なしに変更されることがあります。Printed in the U.S.A.
UG-QIO-MR-J-A-102711